

看護福祉学部福祉マネジメント学科3年

アルバータ大学の留学を通して、英語に触れたのが久しぶりだったので最初は戸惑う部分があったが、ディスカッションなどを繰り返している中で少しずつ感覚を取り戻すことが出来た。また、カナダの文化などを学ぶ中で日本とは違う良い点や課題が見えてきた。講義を受ける前はアメリカに近い文化であると考えていたがカナダ特有のものもあるということを知ることが出来た。

学んでいく中で、環境問題については世界中で考えていかななくてはならない課題であり、特に地球温暖化については意識しなくてはならない課題であると感じた。また、食文化についても日本とは違い、そこに体質の違いや健康の課題がそれぞれあると感じた。例えば、カナダにはティムホントンという有名なファストフード店があるが、そこにはダブルダブルというコーヒーに砂糖とミルクが2つずつ入っている商品がある。また、家庭内では主食はパンや麺が多く、メインも肉や野菜を食べていることが多く、魚は少ないという点が見えてきた。また、食べる場所についても台所のカウンターでという家庭もあり様々な人種が住んでいる国であるという事も見えてくる。次に日本と違う点として質問して良いこととそうではないことに差があると感じた。例えば、給料の話が簡単にはいけないという事などがあげられる。次に日本の文化について考える場面があったのだが、意外と何があるかが出てこなかったので普段から意識していきたいと感じた。そして、個人的な学びとしてカナダでフランス語が公用語のひとつとして使われているのは昔は植民地だったからということを理解した。最後に良かったこととしてリスニングの力が伸びたということと、他大学の学生との交流をもてたことについてもコロナ禍で減少していたので貴重な経験となり、楽しみの1つでもあった。